

明治42年岐阜地区暮らしの記録

『常呂町岐阜部落開基80周年記念誌』からの抜粋・編集

(略) 住宅もガラス窓の明るい家、板囲いの家の内部には障子も入れられ、灯火も石油ランプの三分芯くらいが使用されだし、冬期間は鉄板ストーブも用いられた。しかし、既舎は同一棟に設けられ、不潔ではあるが反面愛畜心の強さを示すものであった。(略)